

土管第212号

平成25年3月29日

土木部各課長  
各出先機関の長 様

土木管理課長

### 仮橋および仮栈橋の設計上の留意点について

仮設工（仮橋および仮栈橋）を設計する際には、「道路土工－仮設構造物指針」、  
「土木工事 仮設計画ガイドブック（Ⅰ）、（Ⅱ）」等、最新の指針や基準書等を使用  
することとし、以下については、福井県土木部として統一の考え方を示したので通  
知します。

#### 記

##### 1 耐震設計について

一般用（迂回路用）仮橋で、長期間（3年以上）供用される場合には、地震  
力（震度法  $kh=0.2$ ）を考慮するものとする。

##### 2 雪荷重について

一般用（迂回路用）仮橋の場合には、雪荷重として  $1.0\text{kN/m}^2$ （圧縮された雪  
で約  $15\text{cm}$  厚）を考慮することを原則とする。ただし、路面覆工が冬期間に及  
ばない場合はこの限りではない。

工事用仮橋、仮栈橋には雪荷重を考慮しない。

##### 3 許容応力度について

一般用（迂回路用）仮橋の場合には、許容応力度を  $25\%$ 割増して設計するが、  
大型車の交通量が多く（1方向  $500$  台/日）、設置期間も長期間（3年以上）供  
用される場合には、割増しせず設計する。

(担 当)

土木管理課 技術管理G

内線 3312